

# ○いたくろ 議会だより

〔今月の主な内容〕

- ◆6月議会可決議案……………2 P
- ◆一般質問……………3 P
- ◆請願・陳情・意見書……………9 P
- ◆町政へ一言……………10 P

2007 8 / 1 第102号



## ～コアラ学級～

おかあさんに抱かれて、安心のようすの赤ちゃんです。子育ては大変ですが、他のおかあさんたちとも話をしたり、相談したりして頑張っています。赤ちゃんが元気に健やかに育つように応援します。おかあさん頑張って！

## 今年、2回目の定例会が開かれ

## 補正予算など可決しました。

## 一般質問に6人の議員が登壇



平成19年板倉町議会第2回定例会が、6月13日から20日まで8日間の会期で開かれました。今回の定例会では補正予算など7議案と合併問題調査特別委員会など5つの特別委員会設置について審議し、いずれも全会一致で可決しました。ほかに、請願1件を採択し、一般質問には6名の議員が登壇して、町政各方面に亘った質問を行いました。最終日には、追加提案された議員発議の意見書を可決して8日間の会期を閉じました。

- 人権擁護委員候補者の推薦  
小野久雄氏が9月30日で任期満了となることから、後任として大字朝日野在住の眞住勝康氏（65歳）を推薦することに同意しました。
- 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議  
群馬県後期高齢者医療広域連合（県内全市町村で組織）が設立され、新たに本組合の組織団体となったことに伴い、平成19年7月1日から事務の共同処理を行うため、規約を変更するものです。
- 後期高齢者医療制度システム開発委託料を補正  
平成19年度板倉町一般会計補正予算（第1号）  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,185万1千円を追加し、予算総額を52億4,285万1千円としました。
- 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議  
後期高齢者医療制度システム開発の委託料503万8千円及び4月の機構改革による職員人事異動に伴う人件費等の補正です。
- 平成19年度板倉町老人保健特別会計補正予算（第1号）  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ870万円を追加し、予算総額を12億5,255万5千円としました。
- 平成19年度板倉町老人保健特別会計補正予算（第1号）  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ160万5千円を減額し、予算総額を7億9,697万6千円としました。
- 平成19年度板倉町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ49万8千円を追加し、予算総額を16億8,525万円としました。
- 平成19年度板倉町下水道事業特別会計補正予算（第1号）  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ125万3千円を追加し、予算総額を2億7,429万1千円としました。
- 平成19年度板倉町下水道事業特別会計補正予算（第1号）  
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ125万3千円を追加し、予算総額を2億7,429万1千円としました。
- 平成19年度板倉町下水道事業特別会計補正予算（第1号）  
4月の機構改革による職員人事異動に伴う人件費の補正です。

# 一般質問

議会 2 日目  
6 月 14 日(木)

## ① 青木秀夫 議員

### 「安心・安全なまちづくり」の財源は 合併による経費節減で捻出を！」



真の合併推進者は？

問・財政再建という掛け声ばかりで、成果は一向に上からず八方ふさがりの国家財政、借金は累増し続けている。そういう財政状況下、国は「消費税アップ」、「医療、福祉費のカット」、「地方交付税カット」と歳入歳出両面からの財政収支の均衡に躍起となっている。その一つとして、地方交付税、補助金カット策のために、平成の大合併を誘導、推進しているのではないかと思われる。国の真意をどのように受けとめている

のか伺いたい。

答・町長 住民の日常生活圏の拡大、少子高齢化、地方分権、厳しい財政状況等、市町村合併の理由はいろいろある。中でも危機的状況にある国家財政を何としても打開したいということ、合併によつて経費節減をさせようとしているのではないかとこの指摘には同感である。地方分権云々というところもあるようであるが、合併の一番大きな国のねらいは、やはり国の財政危機を回避させるためではないかと考えている。

合併についての  
検討・研究の経過は

問・国の財政再建を考えれば

市町村合併は時代の要請で、それに逆らう選択肢はない筈である。早晚合併という現実突き当たらざるを得ないからこそ、板倉町も事務レベルとはいえ合併の検討、研究してきたのではないだろうか。今までの経過と研究成果について伺いたい。

答・町長 館林、邑楽は一つという構想と西邑楽3町という動きがあった中で、枠組みがはつきりしない状況にあった。そうした中で、平成14年館林から任意協議会設置の働きかけがあったが、当時大泉、千代田は太田市を中心とする任意協議会に加入しており、1市5町で合併協議する状況でなかったのである。その後、

平成15年に館林、明和、板倉1市2町で事務レベルの研究會設置を合意したが、西邑楽3町の合併協議が揺れ動いている中では研究会の開催も難しく、16年に単なる意見交換を一度開催した経緯があつて、現在に至っている状況にある。

新館林市長の合併観は

問・新館林市長は市町村合併に意欲的なようであるが、合併について公式な話し合いは行われたのか。

答・町長 新市長誕生後1市5町の首長で、一度會合を持った経緯はあるが、細かい合併話まではしていない。

合併による経費節減で  
良質な行政サービスを

問・「医療・福祉の充実」、「安心・安全なまちづくり」の実現には、莫大な財源が必要となる。その財源捻出の近道は合併による経費削減策であると思う。市町村合併は強大な

権限をもつ首長が決断しない限り実現しない。6期目、ベテランの針ヶ谷町長が合併推進のエンジン役を担う考えは。

答・町長 知事が勧告できる合併新法が施行されて新しい時代に入っている。現時点では県も合併を勧告するとは言っていないが、今後、着実にそういう状態が来ることは明白な事実であると思つている。それに備えて基本的なことをしっかり勉強、研究しておくことが大切であると考へている。その辺については、新館林市長も私と同意見であるので、その方向で精一杯努力していきたい。



▲分譲が進む板倉ニュータウン

一般質問

議会 2 日目  
6月14日(休)

② 延山宗一 議員

地域ぐるみで参加「農地・水  
環境保全対策」が今年度よりスタート



今年度導入の農村資源  
「保全管理」の取り組みは

問・農村資源の保全管理をす  
る制度、農地・水・環境  
保全向上対策が、今年度  
よりスタートしたが、現  
在までの取り組み面積、  
集落、事業内容、予算等  
を聞きたい。

答・町長 5年間の事業期間  
で、実施の国庫補助事業  
であり、規約と活動計画  
の作成が完了した板倉  
西、板倉東、中新田、西  
岡新田、大荷場、下五箇  
南部の6組織、また、2  
行政区で検討している状  
況である。

問・もう既に事業がスタート  
している集落もあると聞  
いているが、この支援事  
業の交付はいつごろか。

答・建設農政課長 補助対象  
に係る農振農用地、田3  
58ヘクタール、畑87ヘ  
クタール、合計面積44  
5ヘクタールである。10  
アール当たり、田4、4  
00円、畑2、800円  
の単価で助成、これに伴  
う町負担は460万円程  
度になる。

また、この事業には共同  
活動支援と営農支援活動  
があるが、後者の活動が  
不可欠、化学肥料、農薬  
を今までの半分に減ら  
し、エコファーマーの認  
定を受け、地域と一体と  
なり取り組めば、より多  
くの支援を受けることが  
できるが、その指導は。



▲環境保全に取り組む西岡新田地区

答・建設農政課長 5月末に  
採択申請された活動組織  
であるが、早くも11月ご  
ろの支払と聞いている。

答・建設農政課長 営農支援活動について  
は、事業の活動範囲に存  
する営農だけでなく、地  
域の農業者が、気持ちを  
一つにして取り組むこと  
が必要であり、今後、農  
協等と相談をしながら推  
進をしていきたい。

小さな農家は  
切り捨てられるのか

問・農業センサスによると板  
倉町の農家戸数は、専業  
311戸、兼業951戸  
合計1569戸となつて  
いる。耕地面積は田畑合  
わせて1917ヘクタール、  
1戸当たり平均1・

問・4月から始まった、品目  
横断的経営安定対策だ  
が、国が求めている農業  
法人、集落営農団体、認  
定農業者で条件を達成し  
加入できた組織は。また、  
町では認定農業者、農業  
後継者を担い手と呼んで  
いるが、その定義を聞き  
たい。

答・町長 現在までの加入状  
況は、認定農業者(個人)  
12名、認定農業者(法人)  
1名、集落営農組織1組  
合計14件で、対象品目は  
小麦となっている。

答・建設農政課長 担い手の  
位置づけは、平成19年度  
から始まった経営安定対  
策対象者の中で、個人で  
は4ヘクタールを超える  
経営面積及び法人、特定  
農業団体とする。



▲花を育てることは気持ちがなごみます

答・町長 戦後最大の農政改  
革により、町の農業に  
とって、大きな課題であ  
り、一部の人以上の農業  
支援をどう考えていく  
か、具体的にはつきり出  
ていないが、今後の農業  
政策に一生懸命対応し、  
支援をどうするか考えて  
いきたい。

2ヘクタールの農業経営  
だが、農業立町として進  
む中、小規模農家でも安  
心して、経営ができる農  
業支援が必要だが、町長  
の考えは。

# 一般質問

議会 2 日目  
6 月 14 日 (木)

## ③ 秋山豊子 議員

### 住環境の整備を早急に！

### 子育て支援と少子化の対応は



#### 問田地区水道管の改善策 及び道路整備の対応は

問・海老瀬問田の水道管の改善について本町では、どのように考えているのか聞きたい。

答・町長 北川辺町との話し合いを行って、どうすべきことが、一番ベターなのか、その辺は早急にやらなくてはならないと考えている。

問・水道管の布設がえをしたあと、道路の陥没や破損によって、困っている住民はたくさんいるが、その対処と安全の確保を本町は行っているのか聞き

たい。

答・町長 陥没を発見した場合、修繕することになっており、陥没した上に舗装をのせる方法をとっている。工事すべてに言えることだが、仕様書どおりに施行されているか、手抜きはないか、監督業務をより一層強化する方向で、現在進めている。

問・側溝や排水路の整備はどのように行われているのか

か。

答・建設農政課長 側溝については、排水を確保することも視野に入れて整備する必要があり、極力道路の拡幅にあわせて設置をしたい。

#### 危険箇所の対応は 信号機設置を早急に

問・町内危険箇所の信号機設置については、どのよう



▲信号機設置が待たれる交差点

に考えているか。

答・総合政策課長 町の方でも公安委員会に、5箇所信号機の設置を要望している。判断基準が色々あり、なかなか設置の方向にいかないのが、警察の方には順次口頭で要望していきたい。

#### 少子化に歯止めを 子育て支援のあり方は

問・子育て環境整備と少子化対策についての考えは。

答・町長 少子化対策として乳幼児の健康と健やかな育成を図り、深刻化する少子化対策と子育て支援の推進をしていきたい。また、だれもが安心して子どもを健やかに育てられる社会づくりを目指したい。

問・乳幼児医療費無料化を小学校3年終了までに拡大し、子育て世帯の負担軽減を考えるべきであると思うが。

答・町長 町の財政も厳しい状況であり、この少子高齢化の関係は、もう一度よく精査をして、ほかの郡内と同等とは言えな

いが、何とか幾つかの点については、次年度の予算に反映した方が良く考えている。この医療費の無料化も含めて対応ができるように努力したい。

問・所得制限の廃止と子供の医療費の無料化についての考えは。

答・町長 母子、父子家庭等の所得制限なしの医療費無料化など、弱者への支援は充実していると考えている。



▲こどもの健康は社会の願いです

一般質問

議会 2日目  
6月14日(休)

④石山徳司 議員

機場樋管の敷高が一定でなく  
一元化管理はできるのか



谷田川排水機場の改築による  
県土木との協議は

問・谷田川第一機場改修中のこの時において、二度と機会はないと思ひ、再度、排水樋管の敷高について伺いたい。邑楽東部第一、第二に排水機場がそれぞれ、Y P 11・5メートル、Y P 11・9メートルで竣工し、運転開始された。また、谷田川第一機場樋管をY P 13・0メートルに改修中であり、板倉町関連排水樋管が、それぞれ違う設置高となつてしまふ。更に谷田川自然排水樋管が、Y P 11・9メートルと聞いている。また、

耐用年数も過ぎていないのか。

答・町長 谷田川第一機場樋管の敷高が、他の樋管と数値が違うという指摘に対して、県の土木と協議はしたのかという質問だが、機場の運転水位や、放流先である渡良瀬川の水位等、総合的な判断に基づいた敷高設定となり、県土木事務所の判断でなく、利根川上流工事事務所の判断と聞いている。確たる資料はないが、



▲改修が予定されている谷田川第一排水機場

行政組織改革に伴う  
県内各市町の事態は

問・地方自治法の改正により、助役は削除され、副町長に改称された。県内市町の実情を伺いたい。個人的には、当町でも副町長を選任し、将来を見据えた福祉や経済活性化を進めるべきと思う。自治体組織を把握し、運営していく実務者は、選挙に左右されない人格が必要で、すぐに育つ人材で

谷田川第一の自然排水樋管は、昭和23年以降に設置されたと聞く。邑楽東部第一樋管も昭和59年に設置されたと知り、遅すぎたと感じている。谷田川第一自然排水樋管も老朽化しているのであれば改修を申し込む。

はないと考えるが。

答・町長 自治法改正による各市町の副市長、副町長の設置状況は、町村の部で23の町村で設置条例を持ち、3町村が未定となっている。市の部では10の市で副市長設置条例を持ち、2市が条例なしとなっている。町では副町長を置かないということではなく、組織改革、機構改革をしたばかりで、状況を見ながら判断していきたい。

新型交付税の実態及び  
具体的提案は

問・地方交付税削減の中、自治体の面積に応じた交付税配分案を決めたと聞いた。滋賀の琵琶湖に5、6億円の前算配分があると耳にした。琵琶湖の面積675キロ平方メートル、渡良瀬遊水地は33キロ平方メートル、1/20の面積であるが、捨てがたい面を持つ。更に板倉は41・8キロ平方メートルの邑楽郡一広い面積を持つわけだが、これまでに国から交付税配分の理論構成や具体的な提案は

受けたのか。

答・町長 新型交付税の関係は、毎年度総務省が地方財政制度や計画について、都道府県担当財政課長会議を開催し、年度方針を説明している。それを受け、県の担当者が国の資料をもとに各市町村課長に説明している。新型交付税需要額は5兆円で、予算総額の10%となる。人口10万人規模が算定基準で、土地利用形態を含めた面積配分となる。町はプラス50万円となるようだ。

答・総合政策課長

交付税配分の理論根拠は、農地、学校、道路、公園など地目別に単位費用基準があり、精算すると32億3,395万円と計算されるが、実質交付税は14億5,000万円となっている。税源移譲個人住民税額は、1億4,000万円と見積もっても、交付税が減額されるので、増収は期待できない。しかし、税源移譲税額分は、支出目的に制約を受けない利点もある。

# 一般質問

議会 2 日目  
6 月 14 日 (木)

## ⑤ 宇治川利夫 議員

### 合併の方向性と考えは

### 副町長の登用はどのように



#### 広域合併に対する基本的考えは

問・平成の大合併により、県内市町村数は70が38になり、県内の行政システムは大きく再編された。この間、館林・邑楽地区においても合併問題が議論されたが、大きな前進はなく、今日に至っている。先般実施された統一選挙の中でも大きな問題として、議論されたわけであるが、合併に対する関心の高まりと同時に環境は大きく変化している。合併に対する基本的な考えと方向性は。

答・町長 合併に対する基本的考え方に変化はない。

最終的には、合併することが望ましいと考えている。邑楽郡内においても合併問題を含めて色々と意見交換を行っていているが、こと合併に関しては必ずしも意見が一致しているわけではない。当面は広域行政推進の中で諸問題を解決することが必要であると考えている。また、住民アンケートについては、現在考えていない。将来、合併問題の機が熟した場合は、実施も必要と考える。今回の合併に関して、積極的に推進した自治体は少なかったと認識している。むしろ財政再建の立場からの合併が、多かったと感じている。合併については、メ

リット・デメリットの両面があるが、町の将来像を明確にし、それを実現するための合併が望ましいと考えている。



▲ヘリコプターによる小麦赤かび防除

#### 経営安定化方策の動向及び基本的考えは

問・品目横断的経営安定対策

における、米作農家の加入者数の状況及び未加入者に対する、今後の町当局の考え方は。

答・町長 現在、加入者はいないと認識している。町の現状を考えると極力、町加入してもらう方向で努力する。

答・建設農政課長 加入者状況は、米作中心ということもあり、生産調整との関わりの中で、理解の難しさを感じている。安定的な農業経営を考えた場合、制度を理解してもらい、極力加入してもらう方向で努力する。この制度はスタートしたばかりであり、認定者制度と品目横断的経営安定対策が重複しているため、理解されていない部分がある。今後、この制度を普及させるためにも、特例措置等との併用の中で、加入者の増加に努めた

い。また、現状の米作環境をこのまま放置するのではなく、将来の米の価格動向を見据えていく中で、関係機関との連携を図り、今後の施策の中で対応する。

#### サービス低下を招く要因副町長の起用は

問・行政機構改革により、課の再編が行われ、課長職の役割・機能の充実が求められている。特に町長不在時に行事等が重なった場合には、現状では多少問題を抱えている点が見られる。時にはサービスの低下を招くことも考えられる。それを解消するためにも副町長を近い将来起用する考えは。

答・町長 機構改革を実施して、2ヶ月足らずであり、町民をはじめ職員の間にも戸惑いがあるものも認識している。もう少し時間の経過をみながら、全体的な進捗状況を見据え判断をしたい。



▲機構改革により役場窓口が一本化

一般質問

議会 2日目  
6月14日(休)

⑥ 野中嘉之 議員

財政問題と市町村間の住民サービス  
格差問題について問う



子どもの医療費無料化も  
市町村によって格差

問・財政力によって、市や町の住民サービスの面で格差が生じてきている。例えば、少子化対策の子どもの医療費の無料化一つとっても、当町では就学前の乳幼児が対象となっているが、中学校卒業まで医療費助成をしている町村がある。不交付団体の上野村はともかく、板倉町より厳しい町でも実施している。次世代育成行動計画の中で、少子化問題は重要であり、子育てしやすい町づくりを推

進すると述べているが、郡内ではワースト1である。小学校卒業まで医療費の無料化の拡充する考えはないか。

答・町長 実績から予測すると、小学校卒業までの受診者数は4,600人増医療費で約2,400万円ほど増える。近隣の市町は、板倉町よりサービスの面では高いが、群馬県全体で見ると板倉町と同程度が6割を占めている。限られた予算であるので、どこかを削らざるを得ない。大事なことであり、少子、高齢化対策を含め精査し、次年度は要望の高いものを反映していきたいと考えている。

できれば県内、せめて  
邑楽館林は同じサービスを

問・子育てについては、先行投資だと思っ、ぜひ拡

充していただきたい。なお、県に要望し県内全体の市町村が同じようなサービスが、受けられるように働きかけていただきたい。少なくとも邑楽館林くらいは、同一歩調がとれないか。

答・町長 基本的には同じ国民、県民であるという場合には同等が望ましい。同じ県内でも大分差があるので、市長会とも一緒に、同じレベルにもっていつてもらいたいと強く要請している。邑楽・館林市に近づけることについては、今年度保育園もできあがるので、次年度

予算に反映できるよう精一杯頑張りたい。  
問・格差社会だからこそ住民の生活に密着した、いわば保障的な住民サービスについては、同一のサービスが受けられることが望ましい。といっても財源確保が問題である。一つには事業の見直しによって捻出する方法、また、従来の請負型から住民主体のまちづくりへ転換していくことが大切と思うが。

答・町長 財政がこれだけ厳しくなってくると、みんなで協力し合い、知恵を出しあつてやっていくことが、極めて大切と考える。これからは、人材活用のまちづくりあるいは、住民参加のまちづくりが大切と考える。

ごみ分別徹底で修理費  
健康増進策で医療費節約

問・資源化センターのゴミ破砕機などの修理に3,000万円かかる。分別を徹底することで、2,000万円になるとすれば、1,000万円財源

が浮くことになる。また、健康寿命を延ばすことで、医療費の節減につながる。もっと積極的に健康増進や予防策に力を入れてもらいたい。

答・町長 このまま進むと、2025年には医療費が倍以上になってしまふなど、社会保障費が多くなり、財政が破綻することにもなるので、予防医療に力を注いでいきたいと考えている。



▲資源化センターの粗大ゴミ受け入れ



総務文教福祉常任委員会による学校訪問

授業参観

去る、5月25日(月)恒例の総務文教福祉常任委員会による学校訪問が実施されました。

町内の各小中学校を訪問し、学校の経営方針や取り組み状況などを視察し、意見交換を行いました。



東小学校の授業参観視察の様子

議長 荻野美友

議長室エッセイ

春夏秋冬、1年間のサイクルである。今年もまた田植えも終わり、田畑は見渡すかぎり真青に映えている。秋には、いっぱい稲穂をつけてくれるでしょう。毎日生活をしていると、一見何の変哲もないようではあるが、40、50年くらい前は、どうだったでしょう。7~10人くらいで三代一緒に生活し、田植えも牛馬で代をつくり手で植えて、一日一反も終われば良かった時代。もちろん自動車など、こんなに普及するとは想像もしなかったし、昭和50年代には、学校など、鉄筋コンクリート建てに様変わりした。家族も最近では2、3人の世帯が多くなり、親子別暮らしが多いのでは。

いろいろ数えていけば、きりのないことばかりだが、最近、特に問題視されているのが、地球温暖化現象である。北極の氷河は随分少なくなり、桜の開花も2、3日早くなったり、カエデの紅葉は2週間遅くなり、大雨の降る頻度は、非常に高まったそうで、このままだと100年くらい後世には、5度くらい高まり、想像もつかない世界になると、国立環境研究所は警告をしている。あらゆる面で、今が良ければ後世はという言葉も考えさせられる。

- 環境治水対策特別委員会 (6人) ◎石山甚一郎◎延山宗一 川田安司 塩田俊一 石山徳司 小森谷幸雄
- 板倉高校対策特別委員会 (5人) ◎青木佳一◎宇治川利夫 市川初江 延山宗一 川野辺達也
- 議会広報特別委員会 (6人) ◎石山徳司◎野中嘉之 市川初江 小森谷幸雄 延山宗一 川野辺達也

請願

◆日豪EPA・FTA交渉に対する請願  
請願者 食とみどり、水を守る群馬県民会議 議長 坂本棟男

◆「日豪EPA(経済連携協定)・FTA(自由貿易協定)交渉に対する」意見書

(要旨) 本年から開始すると

されている日豪EPA・FTA交渉に対し、オーストラリア政府は、農産物も含む関税撤廃を強く主張するとみられています。オーストラリア政府の要求どおり、農産物の輸入関税が全面的に撤廃されるようなことになれば、政府試算でも、肉牛・酪農・小麦・砂糖の主要4分野において約

8,000億円もの打撃を受け、関連産業や地域経済への影響を含めると2兆円~3兆円規模になるとされています。

また、食料受給率は30%台に低下するなど日本の農業と食料は壊滅的な打撃を受けることとなり、農林業の持つ多面的機能が失われ、農山村の崩壊、国土の荒廃、環境の悪化等を招くこととなります。さらに、昨年、干ばつによって大減産となったように、オーストラリアの農業生産条件は極めて不安定であり、これに安易に依存することは世界的な食料不足、危機が心配されている中で、日本の食料安全保障を危うくする結果を招きかねません。私たちは、日豪EPA・FTA交渉にあたり、日本農業に多大な影響を与える重要品目を交渉から除外するなどの対策を求める。

意見書

結果 採択

請願の採択に伴い、意見書を議員発議で提案し、全会一致で可決され地方自治法第99条の規定により関係機関へ意見書を提出しました。

(提出先)

- 内閣総理大臣
- 外務大臣
- 農林水産大臣宛

特別委員会

◆監査委員の選任同意  
5月臨時会において、議会から選出の町監査委員に青木佳一氏が全会一致で選任されました。

- 合併問題調査特別委員会 (13人) ◎川田安司◎塩田俊一 青木佳一 石山甚一郎 秋山豊子 青木秀夫 野中嘉之 市川初江 石山徳司 宇治川利夫 小森谷幸雄 延山宗一 川野辺達也
- 板倉ニュータウン対策特別委員会 (5人) ◎青木秀夫◎市川初江 秋山豊子 野中嘉之 小森谷幸雄

病

院・介護福祉への充実を

ホスピスケアを中心とした施設を

大字細谷

早川和宏さん



方交付税に頼らず、町独自で  
増やすことも重要課題  
の一つかもしれません。い  
ち医療人として町政に求め  
たいことは、病院、介護福祉  
への充実です。

また、難病や癌で苦しんで

いる人が、多いこの時代、ホ  
スピスケアを中心とした施設  
を望みます。痛みや死への恐  
怖で苦しんでいる人を見る

と、医療に憤りを感じてしま  
うことがあります。

苦しみや恐怖を和らげ、一  
人一人が人間として、尊厳を  
持ち、最期の時を迎えられる  
ホスピスケアは、今、重要視  
されています。

そんな施設が、自然豊かな  
板倉町にあつたら心が和み、  
生きる希望が出ると信じま  
す。

安

全で安心な町民の足として

高齢者に充実したサービスを

大字岩田

増田礼子さん



物に、行こうと思っても行けな  
い。家族に頼んでも忙しくて、  
送ってもらえず困ってしまう、  
との会話を耳にしました。

今、板倉町の交通機関とし

ては、定期路線バスが運行さ  
れておりますが、定期路線以  
外の町民（特に高齢者）の足  
として、町内の病院や役場、  
農協などの公共施設を巡回す

る、バスを走らせていただけ  
ないでしょうか。

車社会の世の中で、自由に  
行動できない高齢者にとって  
は、深刻な悩みではないで  
しょうか。安全で安心して目  
的地へ移動できる、サービス  
の充実をお願いします。

いたわりのある町に、期待  
いたします。

美容の仕事をしている私で  
すが、お客さまのお話の中  
に、最近よく出てくる言葉が、  
公民館や福祉センターの催し

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます

“議会傍聴”



議会の本会議は公開制となっています。本会議当  
日、受付簿に記入していただくだけで、どなたでも  
自由に傍聴することができます。今度の定例会は9  
月11日からを予定しています。

議会傍聴についてのお問い合わせは、役場議事  
事務局、電話82-1111 内線511番までお気軽にお電話く  
ださい。

編集後記

高齢者社会が急速に進展している。少し気にな  
るのは高齢者という年齢、現在65歳以上が高齢者  
としていることである。私も来年はカウントされ  
る。65歳以上は人生60年時代？の高齢者、今や人  
生80年時代。これからは、75歳以上を高齢者とす  
べきと思うが？無論個人差がある。現役で活躍し  
ている元気な人もいれば、体調を崩されている方  
も、さらに年金医療介護といったこともあり、何  
とも言えない。ここでサミエル・ウルマンの青春  
の言葉の一節を紹介したい。「人間は年齢（とし）を  
重ねたとき老いるのではない。理想をなくしたと  
き老いるのである。希望のある限り人間は若く、  
失望とともに老いるのである。」心の面では、希望  
をもった元気なおじちゃんでありたい。野中嘉之